

中山間地域におけるアウトドアスポーツが消費者に及ぼす地域愛着に関する研究

～仁淀川地域を事例に～

1230399 相原晶太

指導教員 前田和範

研究背景

近年スポーツが地域にもたらす経済効果は注目を集め、中でもアウトドアスポーツツーリズムによる地域活性化に期待が寄せられている。アウトドアスポーツの持つ役割は、経済効果だけではなく心理的効果にも及ぶとされており、その一つが地域愛着である。これまでプロサッカーチームが地域住民の地域愛着を高めることや、マラソン大会参加の大会満足度が地域愛着に繋がることは明らかになってきたが、非日常的アウトドアスポーツを消費した場合に地域愛着が高まるのかに関する研究は見当たらない。

研究目的

本研究では、非日常的なアウトドアスポーツ体験による満足度と地域愛着との関係を検証すると同時に、地域でアウトドアスポーツ事業を運営する事業者に対して地域愛着という要素の重要性を示すことを目的とする。

調査・分析方法

高知県吾川郡仁淀川町でSUP・クリスタルカヤックのツアーを提供している仁淀川アウトドアセンターの協力のもと、体験者 138 名にアンケート調査を行った。項目は、地域愛着、満足度、再訪意図、NPS などであり、相関分析および回帰分析・重回帰分析により、それぞれの項目の関係性を検討した。

分析結果

それぞれの項目について相関分析を行った結果、全てに正の相関があった。さらに、それぞれの影響を検討した結果、満足度から地域愛着に有意な影響があり、地域愛着の「地域依存性」「地域からの影響」が再訪意図と NPS にも有意に影響を及ぼしていることが判明した。そして、ツーリストは高知県外に宿泊するよりも、仁淀川地域に宿泊を伴う方が「地域からの影響」を感じることも分かった。

考察・結論

研究の結果から、非日常的なアウトドアスポーツから得た満足度が地域愛着に影響を及ぼすことがわかった。また体験地域で宿泊などが完結するツアーを組めれば、地域活性化の大きな基盤となるだろう。地域の特性を理解し、ツーリストのニーズから満足度を高め地域愛着を感じることで、継続的な事業展開ができるであろう。